学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～



平成３０年５月３１日発行　№.９　文責　塩川小学校長　佐藤　寅記

豊かな心・主体性・社会性を育みます。～喜多方市農業科～

　３０日（木）、５年生が、下窪の田んぼをお借りして田植えを行いました。約８割の子どもが、田植えは初体験でしたが、５名の農業科支援員さんから手ほどきを受けて、上手に行うことができました。

　喜多方市の農業科は、他市他県から視察に来るほど有名になっており、本市は、農業科を通して、豊かな心・主体性・社会性の育成をねらいとしています。

　植えた品種は「ひとめぼれ」でした。苗３，４本をとって、苗の三分の一ほどの深さまで植えるよう教えていただきました。稲作は、ここからのスタートになりますが、直接体験や観察を通して、自然の不思議さや力強さ、作物への愛着などを育んでいきたいと思います。



泥の感触を楽しみながら田植えをする



農業科支援員のみなさま。左から、高松様、佐藤様、安部様、鈴木様、菅谷様

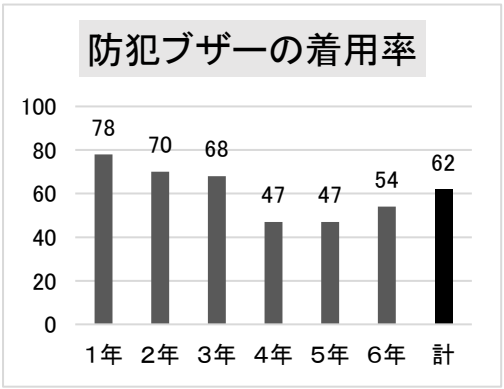


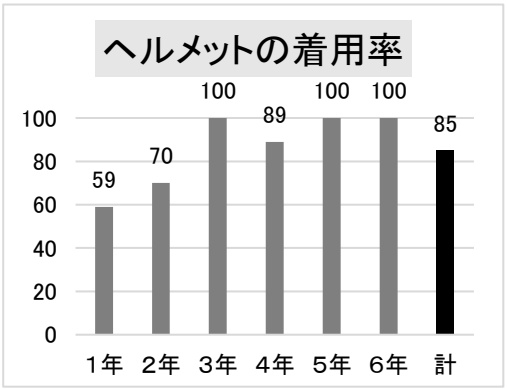
今年は、下窪にある田んぼをお借りしました。



４年生は、菅谷様のご指導をいただいてサツマイモ苗を植えました

防犯ブザーの着用率は、62％でした。ヘルメットは、85％でした。





　生徒指導だよりでもお知らせしましたが、防犯ブザーの着用率が低く、事件に遭遇する心配が大きいです。防犯ブザーには抑止効果があります。犯罪にあわないよう、ぜひ着用させてください。

ネット利用ルールのアンケート結果　※詳細は後ほどお知らせします。

　アンケートへのご協力、ありがとうございました。

　７割の児童が、家の人と話し合ってルールを決めていました。それを守っている児童は、７４％でした。フィルタリング機能を付けてないと答えた保護者は、４２％でした。

